

**【奨励賞】 特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議
「枚方に於けるバスタウンマッププロジェクト」**

(概要)

04 年の大阪府枚方市樟葉地区の「くずは地域公共交通活性化総合プログラム」を契機とし、05 年から NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議を中心として、行政（枚方市、大阪府枚方土木事務所、近畿運輸局）、交通事業者（京阪バス、京阪電鉄）、大学（大阪大学）が環境にやさしい交通まちづくりのためのコアチームを結成し、自治会等と協働しながら MM を中心として持続的に交通まちづくり活動をすすめてきた。

05 年度には「くずは男山バスタウンマップ」を企画・編集・作成し、大阪府枚方市樟葉地区および京都府八幡市男山地区、3 万世帯に居住者対象の MM を実施した。そのマップを用いて 06 年 3 月に同地区の名所旧跡など地域資源をバスでめぐることによって公共交通を使った豊かな生活プランに参加者に体感してもらおう「バス！のってスタンプラリー」（イベント型 MM）を実施し、1 8 6 人参加者が集まり好評であった。

その後、各回ごとに店舗、季節の花や農村風景など地域資源をテーマにしてスタンプポイントを設定し、楽しみながら交通とまちづくりのつながりを考えるイベント型 MM を 4 年間で 8 回実施し、のべ 1294 名の参加者を集めている。06 年には、枚方市全域のバスタウンマップを作成し、市内の 45 小学校や自治会、公共施設、バス営業所などを通じて 4 万部配布した。06 年から市内の小学校等に学校教育 MM を実施している。08 年からは枚方市役所の転入届窓口でバスタウンマップを配布し、転入者 MM を実施している。また、06 年 11 月から枚方市や枚方市シルバー人材センターなどの協力を得て、ネットワーク会議が運営主体となり、レンタサイクルを京阪牧野駅試験的に実施した。09 年 4 月からは枚方市シルバー人材センターに運営主体を変更し、本格実施への道筋を作ることができた。また、鉄道・バスの結節点である駅前広場を魅力的にするために、08 年 3 月には京阪電鉄樟葉駅前広場を花で飾った上で、地域の住民の参加により踊りなどを披露するイベントを実施し、駅前広場の賑わいを創出する試みを行った。

このように、初動期は国土交通省の公共交通活性化プログラムによる支援を受けたが、その後、コアメンバーの資金のみで身の丈にあったユニークな活動を地域の多様な組織や主体と連携しながら持続しているのが特徴である。

(受賞理由)

地域に根ざしたきめ細かいモビリティ・マネジメントを継続的に実施していることに加え、リサイクル自転車のレンタル事業を新たに開始する等、積極性が評価できる。